



PROJECT 10

都市と農村をつなぐ「どぶろく文化発酵人」

PROJECT PARTNER

吉田 雄輔

よしだ ゆうすけ
吉田 雄輔(よっさん)

似顔絵・写真



キャッチコピー・座右の銘

得ようと思ったら
まず与えよ

フランクな自己紹介

郡上市大和町の山間に位置する、わずか38世帯の集落「母袋」に住む吉田雄輔です。
北海道札幌市から、船と原付を乗り継いで郡上に移り住み始めた、郡上一年生。
地域おこし支援隊の面接の時、初めて訪れた郡上の人と自然の魅力にひかれ、この土地で何か面白いことがしたいと直感に従い移住。
ジャンル問わず良い音楽が大好きで、その他に日本古来の文化(侍・甲冑・城)にも興味を持っています。
旨いものとお酒(強くはない)が大好きなので、一緒に美味しいと楽しいを探したいと思ってます！

プロフィール文

1983年北海道生まれ。学生時代は音響(PA・レコーディングエンジニア)を専攻。卒業後、音響会社・広告代理店での職務を経て、老舗喫茶店に勤務し店主を務める。文化人や情報交流の場であった歴史背景を活かし、訪れた事のある著名な画家・作家先生方の作品を一般展示し世代を超えた文化交流の場を作った。「人々の居心地の良い場所を創る」を目指す中、人と人がより深く結びつき、つながりを大事にする地域に興味を持ち、2016年郡上市大和町母袋の地域おこし支援隊として応募、就任して初めて訪れた母袋の自然環境と人々の素晴らしさに触れ、あらためて人とのつながりの大切さに気づく。地域づくりプラットフォーム構築、地域将来ビジョンの作成を手掛ける中、農産物・地域銘品の発掘で浮かび上がった「どぶろく」に注目、どぶろくを介した地域と都会、そして人と人をつなげる交流の場づくりを見据えている。郡上どぶろく研究会委員。

自分ヒストリー

昔

■ 幼少の頃

- ・いたずら好きでやんちゃな元気っ子、よく怪我をして親を困らせる。
- ・親の仕事で転勤を繰り返し、親密な友達ができては別れを繰り返す中で新たな土地での抵抗耐性や人との付き合い方を自然と身に着ける。

■ 小・中学生の頃

- ・現在の実家、北海道江別市に定住、初めて地元と呼べる場所を得る。
- ・体が大きくなりだすと同時に突如目が悪くなり、眼鏡キャラに変貌。分厚いレンズによりいじられ一時期内向的になるも、水泳を習い始め、再び前向きで元気な少年へ。

■ 高校・専門学校の頃

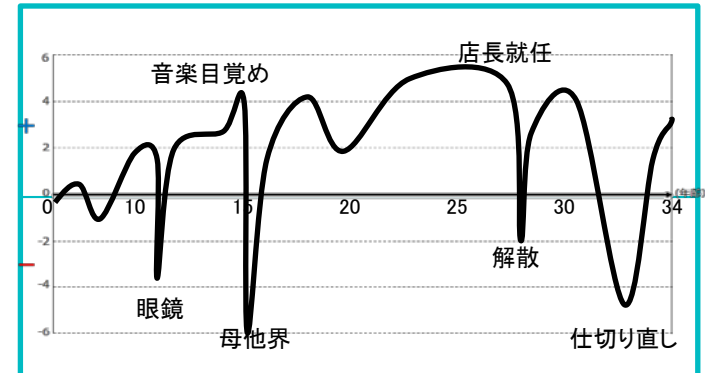
- ・親の古いギターを見つけ弾き始めたのをきっかけに、音楽に目覚める。
- ・高校2年生の頃母が大腸がんで世界。
- ・手に職をつけながらバンドもやろうと、音響専門学校に入学。家を出る。
- ・技術を積み職は内定するも辞退、フリーター&Livelifelifeに華麗な転身をとげる。

■ 社会人～現在まで

- ・音楽活動の傍ら、音響会社・広告関係等の職務を経て喫茶店に勤務し接客・調理のいろはを学ぶ
- ・歴代の言葉に感銘をうけ、「人々の居心地の良い場所」を創り出すことに使命感を感じ、自らも新しく作り出していきたいと考えるようになる。
- ・独立を目指し活動していたが頓挫し仕切り直す、人々とのかかわりを深く持てる場所で新たな着想を育みたいと思い、地域に興味を持った。
- ・郡上の人柄・自然環境にふれ五感が蘇る。つながりの大切さを再認識する。

今

人生グラフ:横軸は年齢・縦軸はイキイキ度(幸せ度)。
人生で輝いていた時、沈んでいた時を見える化しましょう！



みんなが知らない自慢・芸・得意技

- ・目を瞑ったままコーヒーが落とせる
- ・香辛料de滝汗ダイエット(たぶんアレルギー)
- ・つまらない中にも楽しさを見つけること

個人的背景

地域では高齢化や米流通価格減少に伴い担い手不足による耕作放棄地の増加が課題としてあり、農産物の6次産業化が求められている中で、郡上には資源を活かした美味しいどぶろくがあることを知りました。そこから、課題解決の点、そして郡上の良さを更に広めていくには、都市部と地域が連携し、地の旨いものや情報、人々が集まり行き交う場所が必要だと感じ、「人々に居心地のいい場所を」創っていきたい自分の思いと一致したのでこのプロジェクトを提案しました。

課題・ビジネスチャンス

法律により製造が制限されてきたどぶろくは、規制緩和により各地に特区が設置され、美容・健康など様々な観点から醗酵食が注目を集めている近年、そのシーンはさらなる広がりを見せています。郡上大和は特区、素材(米・水資源)と既に条件は備わっているものの、地域にはまだ2銘柄があるのみで、需要に対し供給が追いつかない状態です。第3銘柄を創ることにより、郡上どぶろくのブランド力UP・安定供給・需要拡大に繋がり、全国への展開が期待できます。

プロジェクト概要

都市と農村をつなぐ「どぶろく文化発酵人」
どぶろく特区である郡上市大和町で、どぶろくの新ブランドの立ち上げと、都市と農村の交流の場づくりを行います！
 ※特区では、農業者が自家産米で仕込み、自ら経営する民宿などで提供するならば酒造りの免許を取得できます。

《新ブランドの立ち上げ・PR》

- ・耕作放棄地の借り上げから・米作り・素材選定・醸造まで、どぶろくの新銘柄を地域住民と共同開発する全ての行程に、私と一緒に関わっていただきます。新ブランド立ち上げ後は、大和町だけでなく、郡上市全体が将来的に日本一のどぶろく地区になることを目指し、次世代どぶろくシーンの仕掛け人として、都市部に住む郡上ファンと共に全国に向けてPR・販売していきます。

《交流の場づくり》

- ・どぶろく新ブランド立ち上げの準備と並行して、地元の人とヨソモノが地域の食材・文化を楽しむ交流拠点となる農家民泊&CAFEを開業・共に経営していただきます！提供場所を確保することで、どぶろくづくりの免許要件を満たします。



あなたは、郡上のどんな①人・コミュニティ②自然③文化に根ざっていて、このPJはそれぞれにどんな価値を還元できると思いますか？(各最大60文字程度) ※事前にご提出いただいたエントリーフォームの③を少し変形した形です。

	①人・コミュニティ	②自然	③文化
あなたが根ざしているもの	<ul style="list-style-type: none"> ・郡上の飲食を担うコミュニティ。 ・郡上観光産業を盛り上げる人達のコミュニティ。 ・農村高齢化、後継者不足解消に尽力するコミュニティ。 ・地域産業創出に関わるコミュニティ 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊富な水資源 ・寒暖差のある地域 ・上質な農産物 ・郡上の四季折々の自然資源 	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな手仕事を持つ職人が多い文化 ・外に開けた体質で外部の人を受け入れ、協力してくれる文化 ・古今伝授の里づくりからどぶろく特区設置まで、自分たちが生活を創り上げる地域性
プロジェクトがそれぞれに対して還元できる価値	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足の解消 ・観光銘品による郡上の周知 ・シーンの盛り上がりによる飲食業の活気上昇 ・地域外部と連携して郡上をより良くしようとする人が増える 	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地の活用 ・人の手が入ることによって景観が保たれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが築き上げてきた文化の魅力を地域が再認識し誇りを持てる。 ・土地や技をヨソモノと協力して保っていく文化が広まる。

3年間のロードマップと3年後にどうなしてほしいか

1年目 ↓	仕込期	やること	<ul style="list-style-type: none"> ・農地借入 ・第3銘柄用どぶろくりサーチ ・稲作技術習得(仕込米想定で多品種) 	<ul style="list-style-type: none"> ・農家民宿物件確定 ・物件再生イベント ・農家民宿申請&OPEN 	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎暮らし体験プログラム企画 ・どぶろく発信イベント「どBAR」開催 ・農家民宿発信 WEBサイト構築
2年目 ↓	発酵期	やること	<ul style="list-style-type: none"> ・稲作開始&収穫 ・第3銘柄イメージデザイン ・酒造免許申請 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3銘柄どぶろく試作 ・どぶろく本仕込 ・第3銘柄どぶろくお披露目 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市交流イベント企画開催 ・どぶろく販売 WEBサイト構築 ・田舎暮らし体験プログラム強化
3年目 ↓	熟成期	やること	<ul style="list-style-type: none"> ・稲作&体験用農作物研究 ・全国どぶろく研究大会 出品 ・郡上どぶろくPRイベント開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3銘柄どぶろく取扱に向け飲食・小売り店営業 ・どぶろく製造設備拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・地産品商品開発と販売 ・2品種目開発 ・全国に向けて販売開始
3年後の理想状態					
<ul style="list-style-type: none"> ・農家民泊年間来客総数が520名を超え、郡上の魅力を共有し発信してくれる人々が増える。 ・第3銘柄郡上どぶろくが広く周知され、年間醸造・販売量が3600Lを達成。 ・どぶろくを介した郡上と都市部の交流の場が作られ、郡上に愛着を感じる人が関りを持ち続けながらお互いが幸せを感じられるコミュニティができる。 					

どんな人に来てほしいか？スキル/マインド/実績など

募集メッセージ(プロジェクトのわくわく感)

PJPの関わり方

<ul style="list-style-type: none"> ・ブランディングや情報発信に明るい方 ・プロジェクトに熱量を注ぎながら、全体を捉えドライに選択しマネジメントできる方 ・地域資源を活かしたモノづくりに興味がある方 ・地域文化、背景を尊重し田舎暮らしを楽しめる方 ・自他の違いを認め合いながら良い部分に関心向けられる方 	<p>私が暮らす母袋は、どこともなく人が寄ってきては酒を飲み交わし、誰とでも腹を割って話し合える魅力的な「限界×⇒宴会集落」で、住民、ヨソモノ分け隔てなく集落全体が一つになれる力があります！</p> <p>人も自然も懐の深い郡上を舞台に、どぶろく造りから広まる人・モノ・文化の交流地点を築きながら、自然体な楽しい生きかたを一緒に作ってみませんか。</p>	<p>A. 私自身がフルコミットして一緒に取り組みます。</p> <p>B. 私が今取り組んでいる事業を基盤に、新しい事業を一緒につくります。</p> <p>C. 私にとっても未知の分野、新しいチャレンジです。</p>
---	---	---

暮らしのイメージとサポート

<p>プロジェクトの対象地域</p> <p>郡上市大和町母袋地区</p> <p>その地域での暮らしはどんなものですか？(※移住者の居住地がこの地域になるとは限りません)</p> <p>表情豊かな自然に浸かりながら、何気ない日常に人の温かさがちりばめられた、わずか38世帯の地域での暮らし。つながりが強く行事も多い前向きな「宴会集落」で、先駆者達の知恵を借りながら、自然体の生きかたを見つけていく暮らしです。</p>	<p>あなたはプロジェクトに応募する人の暮らしにどんなサポートできますか？</p> <p>同じ外部から来たヨソモノとして、地域で暮らす上で大事になる部分や考え方の違いを共有し、母袋暮らしの楽しみ方、色々な人との出会いを通してよりスムーズに地域に馴染めるようサポートします。</p>
---	--